

## 研究成果の発表状況（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月まで）

### 1 - 1 学術論文 [英文]

原著

Takashi OKUNO, Toshiyasu IMAIZUMI, Umi SAKAMOTO, Daisuke SAKAI, Kazuhiro FUKUDA, Atsushi SANBE, Taira MAYANAGI, Kenji SOBUE, and Daijiro KUROSAKA: Myocardin-related transcription factor A (MRTF-A) regulates TGF- $\beta$ 2-induced type I collagen production in human lens epithelial cells. JIMA. 70 : 81-90(2018)

### 1 - 2 学術論文 [和文]

a) 原著

1) 坂本うみ、奥野孟、黒坂大次郎、酒井大典、福田一央: MRTF に対する siRNA による網膜色素上皮細胞の上皮間葉系移行に対する影響. 日本眼科学会雑誌. 122 : 261(2018)

2) 清野太郎、大関尚行、橋爪公平、村井憲一、高橋公美、黒坂大次郎: 網膜中心静脈閉塞症発症の季節変動. 眼科臨床紀要. 11 : 313-314(2018)

b) 症例報告

1) 小笠原聡、大高幸二、鳴海新平、菅原剛、木澤純也、黒坂大次郎、赤坂真奈美: 頻回再発性抗 MOG 抗体陽性小児視神経炎の再発予防に Rituximab を投与した 1 例. 日本眼科学会雑誌. 122 : 198(2018)

### 2 著書

1) 黒坂大次郎: 小児白内障の治療. 日本眼科学会雑誌. 122 : 83(2018)

2) 黒坂大次郎: 細胞外マトリックスと水晶体上皮細胞水晶体上皮細胞の I 型コラーゲン産生と TGF- $\beta$ . 日本眼科学会雑誌. 122 : 49(2018)

3) 黒坂大次郎、福田一央: 小瞳孔に対する手術戦略  
瞳孔拡張器不使用の立場から. 日本白内障屈折矯正手術学会雑誌. 32 : 277-281(2018)

### 3 国際学会発表

一般講演

1) Murai K, Okuno T, Hashizume K, Ozeki N, Kurosaka D. Assessment of macular pigment density of eyes after vitrectomy for rhegmatogenous retinal detachment. WORLD ORIENTEERING CHAMPIONSHIPS 2018. June. 2018. Spain.

2) Okuno T, Hashizume K, Seino T, Ikeda C, Nishida Y, Kurosaka D. Assessment of macular pigment optical density in patients with Vogt-Koyanagi-Harada disease. WORLD

ORIENTEERING CHAMPIONSHIPS 2018. June. 2018. Spain.

3) Seino T, Ozeki T, Hashizume K, Murai K, Kurosaka D. Seasonality and incidence of retinal vein occlusion. WORLD ORIENTEERING CHAMPIONSHIPS 2018. June. 2018. Spain.

4) Seino T, Ozeki T, Hashizume K, Murai K, Kurosaka D. Seasonal variation of the central retinal vein occlusion onset. WORLD ORIENTEERING CHAMPIONSHIPS 2018. June. 2018. Spain.

5) Itoh Y, Chiba C, Murai K, Kurosaka D. Evaluation of Gas-filled by Spectral Domain Optical Coherence Tomography After Macular Hole Surgery. WORLD ORIENTEERING CHAMPIONSHIPS 2018. June. 2018. Spain.

6) Ikeda C, Hashizume K, Kurosaka D. The Investigation of the Distribution of Autonomic Nerves on Superior Tarsal Plate. WORLD ORIENTEERING CHAMPIONSHIPS 2018. June. 2018. Spain.

#### 4 - 1 国内学会発表 (全国)

##### a) 招聘講演等

1) 黒坂大次郎. 水晶体上皮細胞の I 型コラーゲン産生と TGF- $\beta$ . 第 122 回日本眼科学会総会. 2018 年 4 月. 大阪.

2) 黒坂大次郎. 小児白内障の治療. 第 122 回日本眼科学会総会. 2018 年 4 月. 大阪.

3) 田中三知子. 小児の白内障治療後のフォローアップ. 第 122 回日本眼科学会総会. 2018 年. 4 月. 大阪.

4) 木澤純也. 切開創から考える眼内レンズの選択. 第 122 回日本眼科学会総会. 2018 年. 4 月. 大阪.

5) 黒坂大次郎. 切開創を考える. 第 72 回日本臨床眼科学会. 2018 年 10 月. 東京.

6) 木澤純也. プリロードワンピース眼内レンズの挿入テクニック. 第 42 回日本眼科手術学会学術総会. 2019 年 2 月. 横浜

##### b) 一般講演

1) 小笠原聡、大高幸二、鳴海新平、菅原剛、木澤純也、黒坂大次郎、赤坂真奈美. 頻回再発性抗 MOG 抗体陽性小児氏神経炎の再発予防に Rituximab を投与した 1 例. 第 122 回日本眼科学会総会. 2018 年 4 月. 大阪.

2) 坂本うみ、奥野孟、黒坂大次郎、酒井大典、福田一央. MRTF に対する siRNA による網膜色素上皮細胞の上皮間葉系移行に対する影響. 第 122 回日本眼科学会総会. 2018 年 4 月. 大阪.

3) 三善重徳、木澤純也、福田一央、木澤明実、黒坂大次郎. 岩手医科大学付属病院における全身麻酔下の白内障手術症例の術後成績と合併症の分析. 第 57 回日本白内障学会総会・第 44 回水晶体研究会. 2018 年 7 月. 石川.

- 4) 福田一央、今泉利康、木澤純也、黒坂大次郎. TGF- $\beta$  による水晶体上皮細胞の収縮機能亢進に対する MRTF 阻害剤の影響. 第 57 回日本白内障学会総会・第 44 回水晶体研究会. 2018 年 7 月. 石川.
- 5) \*大鹿哲郎、黒坂大次郎、\*江口秀一郎、\*稲村幹夫. 難症例・合併症の白内障手術. 第 72 回日本臨床眼科学会. 2018 年 10 月. 東京.
- 6) 佐藤陽子、池田千花、西田泰典、田中三知子、橋爪公平、黒坂大次郎. 腎癌に対する nivolumab 治療中に原田病様ぶどう膜炎を発症した 1 例. 第 72 回日本臨床眼科学会. 2018 年 10 月. 東京.
- 7) 木澤純也、黒坂大次郎、三善重徳、佐藤陽子、五日市そら、福田一央、酒井明子、酒井大典. 岩手医科大学附属病院における全身麻酔下の白内障手術症例の分析. 第 72 回日本臨床眼科学会. 2018 年 10 月. 東京.

#### 4 - 2 国内学会発表 (地方会関係)

##### 招聘講演等

- 1) 新田順福. 糖尿病の眼合併症について. 県南糖尿病セミナー 2018. 2018 年 6 月. 岩手.